

就実大学・就実大学大学院・就実短期大学
2021 年度教育プログラムに関する
自己点検・評価報告書

2023 年 3 月

就実大学自己点検・評価・改善委員会
就実短期大学自己点検・評価・改善委員会

就実大学・就実大学大学院・就実短期大学「2021年度教育プログラムに関する自己点検・評価報告書」について

就実大学・就実大学大学院・就実短期大学では、「内部質保証の方針」、さらに就実大学学則第2条、就実大学大学院学則第3条、就実短期大学学則第2条に基づき、毎年、教育活動についての自己点検・評価を実施している。この自己点検・評価は、教育研究水準の向上と、就実大学学則第1条、就実大学大学院学則第2条、就実短期大学学則第1条に掲げられた目的及び社会的使命を達成するために教育研究活動の状況について行うものである。

自己点検・評価の対象は、(1)「教育の質保証のための自己点検・評価活動」(アセスメント・ポリシーに基づく教育効果・学修成果のアセスメント)、(2)「中期計画に基づく教育研究活動全体の自己点検・評価活動」である。なお、(2)については、別紙にて公表する。本報告書は(1)「教育の質保証のための自己点検・評価活動」(アセスメント・ポリシーに基づく教育効果・学修成果のアセスメント)についての報告である。

教育の質保証のための自己点検・評価の対象期間は、2021年4月1日から2022年3月31日までとなる。各学部・学科・研究科では、この期間に実施した教育活動を対象に、アセスメント・ポリシーに基づき、学生の学修成果及び教育プログラムの有効性等について検証を行った。さらに、各学部・学科・研究科における教育プログラムレベルの自己点検・評価に基づいて、全学レベルでの点検・評価を実施した。

就実大学自己点検・評価・改善委員会
就実短期大学自己点検・評価・改善委員会

就実大学・就実大学大学院・就実短期大学 2021年度教育プログラムに関する自己点検・評価報告書

<全体の総括（大学）>

本学では、2019年度に全学においてアセスメント・ポリシーを設定し、各学部・学科の各DP（ディプロマ・ポリシー）項目について卒業年次生と在学生の学修成果を測定し、それらを用いて教育プログラムの方法・内容について点検・評価を行い、改善につなげている。2021年度の各学部・学科の点検・評価の概要は以下の通りである。全体として、2021年度卒業生は十分な質的水準を満たして卒業しており、また入学後2年終了時点（薬学部は入学後4年終了時点）の学修到達度についても、各種のベンチマークに照らして十分に高いレベルに達していたことから、教育課程及びその内容、方法は適切であると考えられる。

<各学部・学科の点検・評価の概要>

○人文科学部

人文科学部では、「歴史、文化、人間に関する理解と、修得した知識を基に、現代社会の現状を論理的に捉えることができ、更なる充実、発展のために社会に貢献することができる」をはじめ、5つの学部DP項目を設定しており、それぞれについて点検・評価を実施している。卒業年次生については、卒業時アンケートの結果と卒業研究評価を中心に学修成果を測り、全体として学部の教育プログラムに対する高い満足度と教育効果を認めることができた。また、在學生については2年生の学修状況を測定し、順当に能力が養成されていると推測している。ただし、「肯定的な意味で批判的に考える力」の成長に関する学生の自己評価が低いこと、「表現すべき内容の文章を書く力」の成長に関する自己評価に比べて「明快かつ簡潔に話す力」の成長に関する学生の自己評価が低いことが課題として挙げられるため、今後改善を進めていく。

・表現文化学科

表現文化学科では、「日本の言語と文化について幅広い学識と理解を身につけ、その学識を活かして社会及び文化の諸問題を解決できる」をはじめ、3つの学科DP項目を設定しており、それぞれについて点検・評価を実施している。卒業年次生については、卒業時アンケートの結果と卒業研究評価、各DPに強く関連する科目の成績等に基づいて学修成果を測り、全体として学科の教育プログラムの教育効果を認めることができた。また、在學生については2年生の学修状況を単位取得状況と、各DPに強く関連する科目の成績分布等を基に測定し、順当に学修が進んでいると推測している。前年度に比べても、課題だったDP3の到達度についての卒業時アンケートで「そう思う」が前年度の倍になった点等に学科の取り組みの成果が現れている。今後は、各科目とも内容の充実を図るとともに、理解度の低い学生へのケアや卒業後のキャリアを見据えた指導を通したDPの意義の理解浸透を図る等

の取り組みを実施していく。

・実践英語学科

実践英語学科では、「ビジネスや教育の現場で単に英語を運用するだけではなく、英語と日本語の言語的差異、および各言語圏の社会・文化・思想・価値観の差異を踏まえて、英語を実践的に駆使することができる」をはじめ、3つの学科 DP 項目を設定しており、それぞれについて点検・評価を実施している。卒業年次生については、卒業時アンケートの結果と卒業研究評価（ルーブリック）を中心に学修成果を測り、全体として学科の教育プログラムの教育効果を認めることができた。また、在学生については2年生の学修状況を、単位取得状況と、各 DP に主に関連する科目の成績分布等を基に測定し、順当に学修が進んでいると推測している。ただし、学生自身の認識を振り返ると、DP1 と DP3 についてはほとんどの学生が学修成果を実感しているものの、DP2 については必ずしもそうではないため、とくに専門科目群の内容等に改善の余地があると認識している。これらの状況を受けて、昨年度よりカリキュラムの一部改訂を検討しており、2023 年度より実施することとなっている。

・総合歴史学科

総合歴史学科では、「世界の諸地域における歴史の理解と修得した知識を基に、現代世界の状況を正確に把握し、社会の発展のために貢献することができる」をはじめ、4つの学科 DP 項目を設定しており、それぞれについて点検・評価を実施している。卒業年次生については、卒業時アンケートの結果と卒業研究評価を中心に学修成果を測り、全体として学科の教育プログラムの教育効果を認めることができた。また、在学生については2年生の学修状況を、単位取得状況や GPA 等を基に測定し、順当に学修が進んでいると推測している。欠席の多い学生、成績不振学生への対応を早期に開始するため、学科会議において適宜、学生学修状況の情報共有に努めており、今後も引き続きこの体制を維持していく。

○教育学部

教育学部では、「子供への教育・人への支援を担う者としての土台となる、広く豊かな教養を有している」をはじめ、5つの学部 DP 項目を設定しており、それぞれについて点検・評価を実施している。卒業年次生については、卒業時アンケート結果、各免許取得率等を中心に学修成果を測り、全体として学部の教育プログラムの教育効果を認めることができた。また、在学生については2年生の学修状況を単位取得状況と、各 DP に主に関連する科目の成績分布等を基に測定し、順当に学修が進んでいると推測している。改善・向上に向けた取り組みとして学部、学科の FD 研修を通じた課題共有に加えて、自己点検・評価の過程でスプレッドシートを用いた課題の共有も行っている。表面的な数値のみでなく、授業全体の質を向上させる方向で、学部 FD 研修や相互の授業参観の機会を設け、学部全体としての改善を続けていく。

・初等教育学科

初等教育学科では、「すべての子供のよさを多角的な視点から見極め、また、自らの生き方で教えるための土台となりうる多様な領域の教養を有している」をはじめ、5つの学科 DP 項目を設定しており、それぞれについて点検・評価を実施している。卒業年次生については、卒業時アンケートの結果と卒業研究評価、免許取得率等を中心に学修成果を測り、全体として学科の教育プログラムの教育効果を認めることができた。また、在学生については2年生の学修状況を単位取得状況と、各 DP に主に関連する科目の成績分布等を基に測定し、順当に学修が進んでいると推測している。また、改善・向上に向けた取組みとして、教育職員免許法及び同法施行規則改正を受け、幼稚園教諭一種免許取得のための新しい教育課程の編成がほぼ完了し、2023年度からの実施に向けた準備が順調に進んでいる。

・教育心理学科

教育心理学科では、「人の個性や背景を理解し、人の心身の発達・健康を支えケアするための土台となりうる多様な領域の教養を有している」をはじめ、5つの学科 DP 項目を設定しており、それぞれについて点検・評価を実施している。卒業年次生については、卒業研究評価、卒業時アンケートの結果等を中心に学修成果を測り、全体として学科の教育プログラムの教育効果を認めることができた。また、在学生については2年生の学修状況を単位取得状況と、各 DP に主に関連する科目の成績分布等を基に測定し、順当に学修が進んでいると推測している。また、改善・向上に向けた取組み計画として、3ポリシーの再検討を実施している。

○経営学部

経営学部では、「社会でビジネスプロフェッショナルとして責任を果たせること」をはじめ、3つの学部 DP 項目を設定しており、それぞれについて点検・評価を実施している。卒業年次生については、卒業研究評価、卒業時アンケートの結果、就職状況等を中心に学修成果を測り、全体として学科の教育プログラムの教育効果を認めることができた。また、在学生については2年生の学修状況を単位取得状況と、各 DP に主に関連する科目の成績分布等を基に測定し、順当に学修が進んでいると推測している。また、改善・向上に向けた取組みとして、入学定員60名増（計160名）にあわせて2023年度からのカリキュラムの改訂が行われており、実施に向けた準備が順調に進められている。

○薬学部

薬学部では、「豊かな人間性と教養、倫理観を有し、医療の担い手としての薬剤師の義務と法令を遵守できる」をはじめ、10の学部 DP 項目を設定しており、それぞれについて点

検・評価を実施している。卒業年次生については、卒業研究評価、薬学共用試験結果等を中心に学修成果を測り、全体として学部の教育プログラムの教育効果を認めることができた。また、在学生については4年生の学修状況を単位取得状況・GPA等と、各DPに主に関連する科目の成績分布等を基に測定し、順当に学修が進んでいると推測している。また、改善・向上に向けた取組みとして、外部委員が参加する薬学部自己点検・評価・改善委員会を2022年3月に開催し、改善すべき点等を2022年度のマニフェストに反映させて共有し、マニフェストに基づいた改善計画を進めている。

<全体の総括（大学院）>

本学では、2019年度に全学においてアセスメント・ポリシーを設定し、各研究科の各 DP 項目について修了年次生と在学生の学修成果を測定し、それらを用いて教育プログラムの方法・内容について点検・評価を行い、改善につなげている。2021年度の各研究科の点検・評価の概要は以下の通りである。全体として、2021年度修了生は十分な質的水準を満たして卒業しており、また在学生の学修到達度についても、各種のベンチマークに照らして十分に高いレベルに達していることから、教育課程及びその内容、方法は適切であると考えられる。

<各研究科による点検・評価の概要>

○人文科学研究科

人文科学研究科では、「研究に関わる情報を十分に収集し、適切に整理する能力」をはじめ、4つの研究科 DP 項目を設定しており、それぞれについて点検・評価を実施している。修士論文中間報告会での報告や「単位取得状況」等を中心に学修成果を測り、十分な教育効果を認めることができた。その他の問題についても大学院改善検討委員会および研究科委員会において検討を進めている。

○教育学研究科

教育学研究科では、「教育実践、教育支援あるいは心理支援の実践に関し、深い専門的知識を身につけている」をはじめ、3つの研究科 DP 項目を設定しており、それぞれについて点検・評価を実施している。単位取得状況、修士論文審査報告書、臨床心理士・公認心理師受験資格の取得状況等に基づいて学修成果を測り、十分に到達目標に達し、資格取得の条件も満たしているとして、研究科の教育プログラムの教育効果を十分に認めることができた。また、2021年度入学生より履修推奨科目の見直しを行っており、改善・向上に向けた取り組みを継続的に進めている。

○医療薬学研究科

医療薬学研究科では、「自ら諸問題を見出し、科学的根拠に基づいた対応ができ、地域における医療の中核を担うことができる」をはじめ、4つの研究科 DP 項目を設定しており、それぞれについて点検・評価を実施している。学位論文審査結果等に基づいて学修成果を測り、研究科の教育プログラムの教育効果を十分に認めることができた。また在学生については大学院 1-2 年生の学修状況を、単位取得状況等を基に測定し、順調に学修が進んでいることを確認している。

<全体の総括（短期大学）>

本学では、2019年度に全学においてアセスメント・ポリシーを設定し、短期大学 DP と各学科の各 DP 項目について卒業年次生と在学生の学修成果を測定し、それらを用いて教育プログラムの方法・内容について点検・評価を行い、改善につなげている。2021年度の各学科の点検・評価の概要は以下の通りである。全体として、2021年度卒業生は十分な質的水準を満たし卒業しており、また入学後1年終了時点の学修到達度についても、各種のベンチマークに照らして十分に高いレベルに達しており、教育課程及びその内容、方法は適切であると考えられる。

・幼児教育学科

短期大学幼児教育学科では、「保育を取り巻く環境や動向を理解し、問題解決に向けて知識を活かすことができる」をはじめ、4つの学科 DP 項目を設定しており（2020年度。2021年度より6つの学科 DP 項目）、それぞれについて点検・評価を実施している。卒業年次生については、各 DP に主に関連する科目の成績分布、幼稚園免許状・保育士資格・社会福祉主事任用資格の取得者数、卒業時アンケートの結果等を基に測定し、全体として学科の教育プログラムの教育効果を十分に認めることができた。在學生については入学後1年終了時点の学生の学修状況を、6つの学科 DP 項目に基づいて、実習の基準科目の単位取得状況等を基に測定し、順当に学修が進んでいると推測している。また、改善・向上に向けた取組みとして、さらなる教育内容の充実と評価基準のばらつきの是正について学科の定例 FD の中で協議していく。

・生活実践科学科

短期大学生生活実践科学科では、「豊かな人間性と社会性、倫理性を支える幅広い教養を身につけている」をはじめ、6つの学科 DP 項目を設定しており（2020年度。2021年度より7つの学科 DP 項目）、それぞれについて点検・評価を実施している。卒業年次生については、各 DP に主に関連する科目の成績分布、卒業時アンケートの結果等を基に測定し、全体として学科の教育プログラムの教育効果を十分に認めることができた。また、在學生については入学後1年終了時点の学生の学修状況を、単位取得状況等を基に測定し、順当に学修が進んでいると推測している。また、改善・向上に向けた取組みとして、2021年度より担当者間（クラス間）での成績評価の基準の統一を進めている。

以上